

部 局	(教育委員会)	補 職	部 長	氏 名	教育委員会事務局長
-----	---------	-----	-----	-----	-----------

## 1. 部局の使命

- 児童・生徒一人ひとりを大切にし、豊かな人間性と人間関係を築く力を育むとともに、自ら学び考え行動する子どもの育成を図る学校教育を推進する。
- 市民生活が豊かで活力のあるものになるよう、市民が生涯を通して学習し学び続けることのできる環境整備に努める。

## 2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>○教育現場での現状のほか、中核市教育長会の事務局事務を通じた国制度の今後の動向なども把握し、総合教育会議や教育委員会会議での議論を通じて、教育施策の充実を図ります。</p> <p>○教育振興計画の改訂を進めるとともに、毎年度の「教育行政方針」「教育に関する事務の点検及び評価」を軸にPDCAサイクルで施策の着実な推進を図ります。</p> <p>○学校教育活動の充実や、多様化する教育諸課題への対応に向け、家庭や地域等と連携した子どもたちの学びと育ちを支えるしくみづくりを進めます。</p> <p>○幼児期を視野に入れつつ、義務教育期における子どもたちの発達や学びの連続性に留意した教育の充実を図ります。また、義務教育終了後においても、支援を必要とする子どもの社会的自立を支えます。</p> <p>○学校を拠点に地域社会全体で子どもたちの学びや育ちを支える環境づくりを推進します。</p> <p>○生涯をとおして学ぶことができる機会の提供と、学びの成果を活かせる場や機会の創出を行います。</p> <p>○教育施設の有効活用の具体化について、検討を進めます。</p>	<p>○中核市教育長会の事務局を担い、総会を2回開催するとともに、国への要望を行いました。また、把握した他市の取り組みや、国の情報等を総合教育会議や教育委員会会議で共有しました。また、総合教育会議では、いじめ・児童虐待対策、コミュニティスクールなどについて、議論を行い、方向性を確認しました。</p> <p>○教育行政方針については、点検評価の成果・課題もふまえながら、策定を進めました。また、計画改訂にあたり計画の評価や次期計画に向けた課題について、点検評価委員会の答申を受けながら検討しました。</p> <p>○(仮称)庄内さくら学園で展開する教育内容や、南部コラボセンターでの家庭学習支援の取り組みについて議論を行い、その結果をパンフレットとして作成しました。</p> <p>○(仮称)南部コラボセンターで実施する、非認知スキルの育成を幼児期から進める事業について関係部局と検討しました。また、青年の家いぶきと少年文化館の統合においては、就学時から就学後に至る切れめのない支援のしくみについて検討を行いました。</p> <p>○コミュニティスクールのモデル校区についての選定を進めるとともに、総合教育会議で制度概要等について議論を行い、次年度モデル校で実施することとしました。</p> <p>○地域の特色や関係団体とのつながりを活かしたイベントや講座を開催することにより、知識・教養の向上のみならず、地域の魅力や賑わいづくりに貢献しました。</p> <p>○(仮称)中央図書館基本構想や(仮称)郷土資料館構想の策定に取り組むとともに、青年の家いぶきと少年文化館の統合や、青少年自然の家わっぱるの民間活力の導入について検討を進めました。</p>

### 3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>教育振興計画の着実な推進と改訂</p> <p>○教育振興計画の計画期間満了が平成32年度（2020年度）末であることから、教育振興計画の改訂に向けて事務を進めます。            ＊これまでの振り返りと課題整理            ＊市民意識調査の実施            ＊附属機関設置の条例改正            ＊計画骨子案作成</p> <p>○教育振興計画の改訂に伴い、毎年度実施する「教育に関する事務の点検及び評価」に加え、過去10年間の効果検証をします。            ＊審議会開催</p> <p>○「教育に関する事務の点検及び評価」から見える課題を見直し、平成32年度（2020年度）の教育行政方針へとつなげていきます。            ＊教育行政方針の策定</p> <p>(教育振興計画)            4～6月 庁内検討組織立ち上げ            7～9月 過去の振り返り、附属機関条例改正            10～12月 市民意識調査・分析            3月 計画骨子案作成            (点検及び評価)            8月 報告書完成            (教育行政方針)            2月 策定</p>	<p>○庁内会議を立ち上げるとともに、現計画期間での評価や今後の課題について、点検評価委員会の答申を受けながら進めました。また、附属機関の設置や市民意識調査を実施し、調査結果から教育をとりまく状況や課題などの分析を行いました。</p> <p>○「教育に関する事務の点検及び評価」においては、委員会の答申もふまえて報告書の策定を進めました。また、教育振興計画の改訂に向けて、毎年度実施する評価に加え、過去の施策の振り返りを行いました。</p> <p>○教育の現状や、点検評価で示された前年度の成果・課題もふまえて「教育行政方針」の策定を進めました。</p>	<p>○市民ワークショップや、教育振興計画策定委員会での意見をふまえて、令和2年度（2020年度）中に教育振興計画を策定します。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。</p> <p>4-2-① 文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます。</p> <p><b>基本政策</b></p> <p>6 公教育の充実（学力・体力・人間力の向上、ICTを活用した教育の推進、小学校全学年 35 人学級の編制）</p>	<p>1-2-③ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます。</p> <p>4-3-① 生涯を通じた学びの機会の充実と成果を活かせる場や、機会づくりを進めます。</p>	

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	庄内地域の「魅力ある学校」づくり計画の推進	<p>○（仮称）庄内さくら学園の建設については実施設計が完了しました。○（仮称）庄内さくら学園および（仮称）南校の教育内容を紹介する「リーフレット」を発行しました（令和2年（2020年）1月）。また、（仮称）南部コラボセンターとの連携について、情報共有の場を設定し、具体化について検討しました。</p> <p>○（仮称）南校の整備場所を千成小学校およびせんなりこども園の敷地と決定し、令和7年（2025年）4月の開校をめざし、「民間活力導入可能性調査」を行っています。（令和2年（2020年）2月契約）</p> <p>○同居・統合する学校の改修工事を実施しました。</p> <p>○（仮称）庄内さくら学園の給食を全員喫食とする方針を、決定しました。</p> <p>○第六中学校と第十中学校を統合して庄内さくら学園中学校を開校しました。</p>	<p>○（仮称）庄内さくら学園 令和2年度（2020年度）：解体工事 令和3・4年度（2021・2022年度）：建設工事 令和5年度（2023年度）：開校</p> <p>○「リーフレット」を活用し、庄内地域の保護者や地域等に対して、「魅力ある学校づくり」の取組状況を説明していきます。また、庄内さくら学園中学校での先行した事例を検証しながら、教育内容のさらなる検討を進めます。</p> <p>○（仮称）南部コラボセンターとの連携について、引き続き他部局との意見交換を行い、連携内容を具体化します。</p> <p>○（仮称）南校に係る「民間活力導入可能性調査」を、令和2年（2020年）7月までに終了し、事業手法の決定を行うとともに、開校までの学校運営等を定めた「基本方針」を策定します。</p> <p>○地域の課題をふまえ、学校再編に向けた素案を検討します。</p>
	<p>○（仮称）庄内さくら学園の建設に向けて取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 実施設計</li> <li>* 義務教育9年間の教育課程や特色ある教育活動についての検討及び経過の発信</li> <li>* （仮称）南部コラボセンターとの連携等の検討</li> </ul> <p>○（仮称）南校の建設に向けて取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 建設場所の確定</li> </ul> <p>（仮称）南校に係る計画</p> <p>6月 計画を教育委員会議で議決 9月 市民説明</p>		
<b>総合計画</b>			
	1-2-③ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます。		
<b>基本政策</b>			
	5 魅力ある学校づくりの推進		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>35人学級編制の実施に向けた、制度の検討及び準備</p> <p>○児童一人ひとりに対するきめ細かな指導体制を全小学校で構築するため、平成32年度(2020年度)からの35人学級編制の段階実施に向けて、制度の検討及び準備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 講師採用の制度検討及び採用事務の実施</li> <li>* 教室確保の検討</li> </ul> <p>4～5月 制度検討 9月 制度確定 10月～採用事務 1月～次年度の取組計画</p>	<p>○令和2年度(2020年度)に小学3年生を対象として35人学級編制を実施するため、任期付常勤講師採用に向けて1月に募集を行い2月に採用試験を行いました。</p> <p>○児童推計に基づき教室の必要数をシミュレーションし、11月に関係課へ情報提供を行うとともに、児童増加に伴う要教室改修校へのアプローチを進めました。</p>	<p>○令和2年度(2020年度)に3年生、令和3年度(2021年度)に4年生へと順次35人学級編制を進めます。</p> <p>○中央教育審議会の答申で示された高学年教科担任制との関連性について検討を進めます。</p>
<b>総合計画</b>			
	1-2-③ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます。		
<b>基本政策</b>			
6	公教育の充実(学力・体力・人間力の向上、ICTを活用した教育の推進、小学校全学年 35 人学級の編制)		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>新学習指導要領の実施に向けた環境づくり</p> <p>○英語学習の環境づくりを進めます。 *外国人英語指導助手派遣の拡充 *英語教育コアスクール(英語教育推進校)における中学校英語科教員の小学校への乗り入れ授業の実施、授業モデルづくり</p> <p>○組織的な学力向上方策を推進します。 *教育アドバイザーの派遣 *全市立小・中学校の学力向上担当者を対象とした「学力向上担当者連絡会」等の実施</p> <p>○ICTを活用した各教科の学習活動をより一層推進します。 *小学校全校に対し、タブレットPCを追加導入</p>	<p>○英語教育では、英語教育コアスクールを引き続き実施するとともに、外国人英語指導助手(AET)派遣の充実を図るため、派遣回数を引き上げました。</p> <p>○学力向上担当者会や「とよなかの学びを考えるフォーラム」等を実施し、成果を上げている学校の取組事例を共有しました。</p> <p>○今年度、小学校に児童生徒用10台のタブレット端末の追加配備を終え、各校20台のタブレット端末を配備しました。ICT機器の活用を進めるため、教職員対象の研修を企画し実施しました。</p> <p>○国の推進するGIGAスクール構想の実現に向け、令和5年度(2023年度)までの導入に向けた制度設計を行い、次年度に実施する学校環境整備の予算計上を行いました。</p>	<p>○英語教育コアスクールを3年計画の最終年として令和2年度(2020年度)も引き続き実施するとともに、外国人英語指導助手(AET)派遣時期を前倒しして4月から実施し、期間の延長も進めます。</p> <p>○全国学力・学習状況調査の結果等をふまえ、課題のある教科や領域を共有し、有効な方策の検討を進めます。</p> <p>○ICT環境の更なる整備を進めるとともに、ICTの授業での活用を推進し、楽しくわかる授業の実践が広がるよう、最新情報の発信と研修の充実に取り組みます。</p> <p>○GIGAスクール構想の円滑な推進に向け、スケジュール感・スピード感を持って対応していきます。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>6 公教育の充実(学力・体力・人間力の向上、ICTを活用した教育の推進、小学校全学年 35 人学級の編制)</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>子どもをめぐるさまざまな課題に応じた継続的・多様な支援の実施</p> <p>○改定した「豊中市いじめ防止基本方針」に則り、いじめ防止等に向けた組織的な対策を行います。 * 豊中市いじめ防止基本方針（改定版）の周知と適切な学校支援、子ども支援の実施</p> <p>○スクールソーシャルワーカー（以下、「SSW」と言います。）の派遣を拡充し、いじめや不登校についての未然防止と早期対応を推進する取り組みを進めます。 * 派遣時間数の増加 * 事案解消に向けた支援</p> <p>○「豊中市障害児教育基本方針（改定版）」を踏まえ、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進します。看護師の安定的で継続的な雇用の制度構築に向けた文部科学省の研究委託事業に、引き続き取り組みます。 * 市立豊中病院との連携について検討</p> <p>○（仮称）南部コラボセンター基本構想における学校等の後方支援の一環としての役割を検討します。 * 相談機能の設置に向けたより具体的な検討</p>	<p>○改定した「豊中市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、事後対応についてリーフレットや研修等を通じて各学校や関係諸団体への周知を行いました。事案対応においても、事案の早期解決に向けて積極的な指導を行いました。</p> <p>○小学校21校へSSWを月2回定期的派遣（うち3校については月4回の定期的派遣を試行）し、ケース会議の開催や関係機関との連携等により福祉的な視点で児童や家庭の支援を行いました。コミュニティーソーシャルワーカー（以下、「CSW」）との連携担当者を定め、回数・内容ともに昨年度を上回る交流を行うことができました。</p> <p>○医療的ケアが必要な児童生徒に看護師を派遣するとともに、文部科学省の委託事業の一環として実践内容を各地の自治体へ発信しました。また看護師派遣の課題等をまとめ、文部科学省に報告しました。</p> <p>○（仮称）南部コラボセンターにおける児童生徒支援機能としての教育相談員の質を高めていくため、来年度に教育相談員の小学校への派遣校数を増やすための体制の構築について検討しました。</p> <p>○家庭教育支援の課題解決に向けた取り組みの一つとして非認知スキルについて検討しました。</p>	<p>○初期対応や学校としての組織対応、記録の大切さなど具体的に周知していきます。更に、いじめの事案対応には生徒指導的側面と法律対応的側面とがあることも周知していきます。</p> <p>○小学校における校内支援体制の構築を行い、いじめや不登校の早期発見・対応を積極的に行います。また、「いじめや虐待を許さないまち」をめざし、SSWの派遣回数を拡充するとともに、こども未来部と一層連携し、取り組みを進めます。</p> <p>○学校と福祉の連携プロジェクトにおいてCSWとの連携の質を高め、家庭支援の充実を図ります。</p> <p>○市立豊中病院と連携した看護師の確保について具体策の検討を進めます。</p> <p>○教育相談員を有効活用できるよう小学校の組織体制づくりの支援を行います。また、他部局と調整を行いながら小学校への派遣校数を増加させていきます。</p> <p>○関係部局や地域団体との円滑な連携に向け、副校長の配置について、制度を検討します。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>安心・安全で豊かな学校給食の提供</p> <p>○食物アレルギーに関して、小学校給食に使用する食材の見直しを行い、より多くの児童が喫食できる学校給食（アレルギー除去食含む）の提供を検討します。 *アレルギーを含まない食材を多く取り入れた献立の立案</p> <p>○平成31年度（2019年度）9月の供用開始に向け、原田南学校給食センターの整備事業を推進します。 *整備事業に対するモニタリングの実施</p> <p>○原田南学校給食センターの開設に合わせ、全小学校でのアレルギー対応食の提供準備を開始します。 *『豊中市学校給食における食物アレルギー対応の手引き』の改訂 *教職員・保護者向け説明会の実施 *原田南学校給食センター対象校の保護者からの食物アレルギー対応食申込み受付開始</p>	<p>○「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を改訂し、従来のそば、落花生、キウイフルーツに加え、来年度から、えび、かに、カシューナッツ、くるみを小学校給食に使用しないこととしました。</p> <p>○原田南学校給食センターを令和元年（2019年）9月に供給開始しました。</p> <p>○来年度から原田南学校給食センター対象校においてもアレルギー対応食の提供が出来るよう、対象校や事業者と調整を行いました。</p> <p>○（仮称）庄内さくら学園の給食を全員喫食とする方針を決定しました。 【再掲】</p>	<p>○令和2年度（2020年度）から全小学校においてアレルギー対応食の提供を開始します。</p> <p>○今後も必要に応じて手引きの見直しを行い、アレルギー対応食の提供食数の増加に取り組みます。</p> <p>○中学校給食など、将来的な給食のあり方について検討します。</p> <p>○（仮称）南校の給食のあり方について検討します。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	<p>教職員の勤務負担軽減の推進</p> <p>○校務の効率化等を推進します。  * 定時退庁日・学校閉庁日の設定  * 閉校時間設定に関する検討  * 部活動ガイドラインの策定・運用  * ICTを活用した校務の効率化等の推進</p> <p>○保護者負担費の検討を進めます。  * 徴収管理業務の事務軽減となる手法の検討</p>	<p>○定時退庁日・学校閉庁日を実施しました。</p> <p>○業務サポートスタッフを試行的に導入しました。</p> <p>○部活動ガイドラインを策定しました。</p> <p>○学校行事の見直しを行い、今後のあり方を検討しました。</p> <p>○常勤職員1人1台の校務用PC環境を活用し、会議における効率化やペーパーレスの推進に取り組み、勤務負担軽減につなげました。</p> <p>○今年度より、「保護者負担費等に関するガイドライン」及び「保護者負担費等会計事務マニュアル」に基づき、全校でルールを統一した他、全校において原則預金口座振替による集金とし、現金集金のリスクを低減しました。</p>	<p>○定時退庁日・学校閉庁日の取り組みを継続します。</p> <p>○業務サポートスタッフを拡充します。</p> <p>○部活動ガイドラインの周知を進めます。</p> <p>○行事のあり方について研究を進めます。</p> <p>○ICTを活用した校務のあり方について、更なる校務の効率化に向けて検討を進めます。</p> <p>○保護者負担費に関する業務の標準化と軽減を図るため、システムの導入を進めます。また、公会計への移行を検討します。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>0</p>		



No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	<p>熱意ある優秀な教職員の採用と育成</p> <p>○豊能地区教職員人事協議会と連携して採用選考を行い、熱意ある優秀な教職員の確保に努めます。 *採用説明会実施 *筆頭・面接・実技等選考実施</p> <p>○法改正を踏まえた教職員の資質向上に関する指標や研修計画についての検討を進めます。 *事例の検討</p> <p>○教員の授業力向上や研修環境整備を図り、育成につなげます。 *小・中学校の校内研究体制を充実</p>	<p>○熱意ある優秀な教職員を確保するため、採用説明会を実施しました。また、ホームページ等を活用して、受験者向け情報の提供を行いました。また、筆頭・面接・実施等の選考にあたって職員を派遣しました。</p> <p>○豊能地区で策定された指標をもとに市の指標策定に向けて検討しました。</p> <p>○新学習指導要領の全面実施に向け、授業改善や校内研修を推進しました。</p>	<p>○引き続き豊能地区教職員人事協議会と連携して採用選考を行います。また、ホームページ等を活用した充実した受験者向け情報の提供を行います。</p> <p>○豊能地区内の各市町村と連携し、市の指標策定を行います。</p> <p>○学習指導要領全面実施が充実するよう研究内容を充実させます。</p>
<b>総合計画</b>			
	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。		
<b>基本政策</b>			
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
9	<p>学校を拠点にした地域社会全体で子どもたちの学びや育ちを支える環境づくりの推進</p> <p>○地域が担い手となる4事業（地域教育協議会、地域子ども教室、学校地域連携ステーション、家庭教育支援事業）について、一体型の運営手法を検討します。 * 社会教育委員会議で新たな運営の仕組みについて意見を聞きます。 * (仮称)庄内さくら学園における運営手法について、該当校区の地域団体と意見交換します。</p> <p>○国の新・放課後こども総合プランに基づき、放課後こどもクラブ事業と地域子ども教室の連携を進めるとともに、放課後の子どもの居場所づくり事業を含めた3事業を効果的に組み合わせる事業展開を検討します。 * 放課後の子どもの居場所づくりについて、他市事例等を参考に、関連する3事業の効果的な組み合わせを検討し、今後の方向性の素案を作成します。</p> <p>○放課後こどもクラブが国基準に基づく運営となるよう、国の考え方や利用率を勘案して基礎児童数の算出方法などの見直しを検討します。 * 放課後こどもクラブの今後のニーズ量を推計します。 * 国基準の達成に向けた方策について、上記の取組み項目と合わせて検討します。</p> <p>○コミュニティスクール導入に向けた検討を進めます。 * 学校運営協議会設置の検討 * 「学校運営協議会の設置等に関する規則」の制定</p>	<p>○4事業（地域教育協議会、地域子ども教室、学校地域連携ステーション、家庭教育支援事業）の一体的運営のイメージを社会教育委員会議に提示して意見をもらい、段階的に進めていくことについて確認・承認を得ました。</p> <p>○放課後こどもクラブ、地域こども教室、放課後の居場所づくり事業の組合せについて、放課後の居場所づくり事業の拡充を視野に、検討しています。</p> <p>○国が示す考え方に沿って放課後こどもクラブ基礎児童数の算出方法を見直し、今後5年間の児童数推計を作成しました。</p> <p>○コミュニティ・スクール導入について、モデル校を設定し先進的に取り組むための準備として、学校評議員会からの移行を進めることを前提に、学校の現状を情報収集し検討を進めました。また、2月の総合教育会議において、制度概要を共有しました。</p>	<p>○4事業の一体的な運営を段階的に進めます。また、(仮称)庄内さくら学園の開校に向けて、運営体制等について検討を進めます。</p> <p>○放課後の子どもの居場所づくり事業は、4校での校庭開放の取組みを次年度は10校に拡大します。</p> <p>○放課後こどもクラブの入会児童数は今後も増加見込みであるため、指導員およびクラブ室の確保に取り組みます。</p> <p>民間活力の導入などによる持続可能な運営について検討を進めます。</p> <p>○コミュニティスクールについては、モデル校を設定し、該当校の実情をふまえて実施可能なコミュニティスクールの在り方について検討を進めます。</p>
<b>総合計画</b>			
	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。		
<b>基本政策</b>			
	3 子ども未来応援施策の推進		

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
10	<p>施設の有効活用の推進①</p> <p>○学校施設の有効活用と改修について取り組みます。 *「学校施設長寿命化計画」の策定：児童生徒推計や将来的な学校規模の適正化の観点や、上野小学校の改築も含め検討 *トイレ改修（設計・工事） *エレベーター設置（設計・工事）</p> <p>○青年の家いぶきと少年文化館の統合について検討を進めます。 *新たな施設機能や配置、既存事業の見直しなどを検討</p> <p>○青少年自然の家わっぱるについて、さらなる民間活力を活かした市民の自然体験・野外活動の場として、魅力向上を図ります。 *民間事業者による運営について調査検討</p>	<p>○学校施設長寿命化計画にかかる各種データの整理を行いました。支援業務の入札不調により、次年度策定となりました。</p> <p>○学校体育施設開放事業などにかかる施設利用システムを、導入しました。</p> <p>○トイレ改修は、小学校2校、中学校1校、エレベーター設置は、小学校2校で工事を行いました。</p> <p>○青年の家いぶきと少年文化館の施設統合については、事業内容の見直し、新たな施設のレイアウト等の検討を行い、来年度の改修に向けた改修方針を作成しました。</p> <p>○青少年自然の家わっぱるについては、土地・建物を民間事業者へ譲渡・貸付する可能性についてヒアリング調査等を実施しました。施設運営を行う事業者は現れなかったため、引き続き指定管理による運営のもと、民間事業者とタイアップした事業展開を行っていく方向性を決定しました。また、3月定例会において、利用料金制について条例を改正しました。</p>	<p>○学校施設長寿命化計画を令和2年度（2020年度）末までに、策定します。</p> <p>○システム運用できる学校数を増やし事務の効率化を図るとともに、空調設置する体育館の受益者負担について検討を進めます。</p> <p>○トイレ改修、エレベーター設置について、令和5年度（2023年度）完了をめざし、毎年複数校の工事を行っています。</p> <p>○青年の家いぶきと少年文化館の施設統合については、令和2年度（2020年度）に改修設計、令和3年度（2021年度）に施設改修を行い、令和4年度（2022年度）の供用開始をめざします。</p> <p>○青少年自然の家わっぱるの事業公募に向け、条件等について整理を行いますスケジュールどおりに進めます。 令和2年度（2020年度）：事業者公募 令和3年度（2021年度）：新たな体制での運用を開始</p>	
	<p><b>総合計画</b></p> <p>5-2-② 適切な公共施設のマネジメントを進めます。</p>			
<b>基本政策</b>				
	7 教育施設の改修促進	8	中央図書館構想の策定	
	9 郷土資料館構想の策定			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
11	<p>施設の有効活用の推進②</p> <p>○図書館では、中央図書館を核とする施設配置や機能分担のあり方について検討を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 中央図書館構想の策定（ニーズ調査）</li> <li>* 図書館の中長期計画（グランドデザイン）の中間見直し（コスト及びサービス指標の検討）</li> <li>* 公共図書館のシステムリプレースの実施</li> <li>* （仮称）南部コラボセンター内の図書館について詳細設計に向けたフロアイメージの検討</li> </ul> <p>○郷土資料館構想の策定に向けて、調査・研究を進めるとともに、施設内容や候補地等について検討します。 * ニーズ調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 施設内容や候補地等についての検討</li> </ul> <p>○文化財の保存・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 国登録文化財西山氏庭園の名勝指定と公有化及び活用に向けた取組みに着手。</li> <li>* 今西氏屋敷の史跡整備計画の策定・活用。</li> </ul>	<p>○（仮称）中央図書館基本構想の策定に向けて、庁内会議、市民アンケート（市民3,000人対象・829人回答）、来館者アンケート等を実施し、施設の最適配置と図書館ネットワークの再構築について検討を進めました。公共図書館のシステムリプレースを実施し、ホームページのリニューアルやICTを活用した利便性の向上につなげました。</p> <p>○郷土資料館構想の策定については、令和元年（2019年）9月に中央図書館構想と併せてニーズ調査を実施しました。構想については素案を作成しました。候補地については、関係部局と調整の上、検討を進めました。</p> <p>○西山氏庭園については、国の文化審議会の答申を経て国指定名勝となり、所有者との協議により公有化を行いました。また、保存活用・整備計画の策定に向け、保存整備委員会の設置準備を行いました。今西氏屋敷については、推定地内の開発予定地にかかる公有化協議をしました。</p>	<p>○（仮称）中央図書館基本構想の策定については、市民ニーズ調査や庁内会議をふまえて、骨子および中間報告書を作成し、令和2年度（2020年度）には基本構想を策定します。また、市民ワークショップおよび周知の機会としてのフォーラム実施を行います。</p> <p>○公共図書館と学校図書館システムの統合について調査・検討するためのRFI（情報提供依頼書）（案）作成に着手するための専門知識の確保が課題となります。また、建物の老朽化に伴う機器の故障が発生しているため根本的な対策を検討します。</p> <p>○郷土資料館構想の策定については、令和2年度（2020年度）末までに、パブリックコメントを実施し、構想を策定します。</p> <p>○西山氏庭園については、令和2年度（2020年度）から保存活用計画等について検討します。あわせて敷地内の建造物について耐震構造調査を実施し、防災設備を設置します。今西氏屋敷については、引き続き公有化協議、保存活用・整備計画の検討を行います。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>5-2-② 適切な公共施設のマネジメントを進めます。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p>		
	7 教育施設の改修促進	8	中央図書館構想の策定
	9 郷土資料館構想の策定		

#### 4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)	
1	<p>教育振興計画の着実な推進</p> <p>○第4次豊中市総合計画、国の第3期教育振興基本計画などを踏まえながら検討を進め計画を策定します。</p>	<p>平成32年度（2020年度）</p> <p>4月 附属機関設置</p> <p>5月 計画素案策定</p> <p>11月 パブコメ</p> <p>3月 策定</p> <p>平成33年度（2021年度）</p> <p>新計画に基づく教育施策の実施</p>	
	<b>総合計画</b>		
	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。	1-2-③ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます。	
	4-2-① 文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます。	4-3-① 生涯を通じた学びの機会の充実と成果を活かせる場や、機会づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>		
6	公教育の充実（学力・体力・人間力の向上、ICTを活用した教育の推進、小学校全学年 35 人学級の編制）		
2	<p>庄内地域の「魅力ある学校」づくり計画の推進</p> <p>○庄内地域における「魅力ある学校」づくり計画に基づき、（仮称）南校は平成37年度（2025年度）の開校をめざして取り組みを進めます。</p> <p>○（仮称）南校及び（仮称）庄内さくら学園の進捗状況について、地域の方などへ丁寧な説明を行います。</p> <p>○（仮称）庄内さくら学園では、義務教育9年間の教育課程や特色ある教育活動など、新たな教育のスタイルを展開できるよう取り組みを進めます。また、南部地域の課題をふまえて、（仮称）南部コラボセンターの「学校の後方支援拠点」の機能を活かし、子どもたちの学校生活の充実につなげていきます。</p>	<p>平成32～34年度（2020～2022年度）（仮称）庄内さくら学園建設工事</p> <p>平成32～33年度（2020～2021年度）（仮称）南校設計</p> <p>平成35年（2023年）（仮称）庄内さくら学園開校</p>	
	<b>総合計画</b>		
	1-2-③ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます。	4-3-① 生涯を通じた学びの機会の充実と成果を活かせる場や、機会づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>		
	5	魅力ある学校づくりの推進	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)	
3	<p>35人学級編制の実施</p> <p>○平成32年度（2020年度）からの35人学級編成の段階実施に向けて、制度の検討及び教職員の採用等にかかる事業計画の策定や教室の確保などの準備を進めます。</p>	<p>平成32年度（2020年度） 3年生 実施</p> <p>平成33年度（2021年度） 3～4年生 実施</p> <p>平成34年度（2022年度） 全学年 実施</p>	
	<b>総合計画</b>		
	1-2-③ 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます。		
<b>基本政策</b>			
6	公教育の充実（学力・体力・人間力の向上、ICTを活用した教育の推進、小学校全学年 35 人学級の編制）		
4	<p>施設の有効活用の推進</p> <p>○施設再編方針に基づき、公共施設のあり方について検討を進めます。</p>	<p>（青少年自然の家） 平成32年度（2020年度）事業者の公募平成33年度（2021年度）新たな活用開始</p> <p>（青年の家いぶきと少年文化館の施設統合） 平成32年度（2020年度）改修設計 平成33年度（2021年度）施設改修 平成34年度（2022年度）新施設オープン</p> <p>（郷土資料館構想） 平成32年度（2020年度）郷土資料館構想の策定 平成33・34年度（2021・2022年度）構想具体化に向けた取組み（中央図書館構想） 平成32年度（2020年度）中央図書館構想策定</p>	
	<b>総合計画</b>		
	5-2-② 適切な公共施設のマネジメントを進めます。		
<b>基本政策</b>			
7	教育施設の改修促進	8	中央図書館構想の策定
9	郷土資料館構想の策定	50	施設再編方針に基づく施設再編（公共施設適正配置・有効活用）

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
5	<p>新学習指導要領の実施に向けた環境づくり</p> <p>○外国人英語指導助手を拡充し、生きた英語学習の環境づくりを進めるとともに、英語教育コアスクール（英語教育推進校）における中学校英語科教員の小学校への乗り入れを授業の実施や授業モデルづくりを行う等、小学校の英語教育の充実を引き続き図ります。</p> <p>○教育アドバイザーの派遣や市内すべての小・中学校の学力向上担当者を対象とした「学力向上担当者連絡会」等を実施し、効果的な指導方法の実践交流を引き続き実施し、組織的な学力向上方策を推進します。</p>	<p>平成32年度（2020年度）小学校全面実施 平成33年度（2021年度）中学校全面実施</p>
	<b>総合計画</b>	
	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。	
<b>基本政策</b>		
	6 公教育の充実（学力・体力・人間力の向上、ICTを活用した教育の推進、小学校全学年 35 人学級の編制）	
6	<p>子どもをめぐるさまざまな課題に応じた継続的・多様な支援の実施</p> <p>○改定された国の「いじめの防止等のための基本的な方針」に基づき学校においていじめの未然防止、早期発見、事後対応などを実効的に行い、いじめ問題解消に向けた取組みを推進します。</p> <p>○「豊中市障害児教育基本方針(改定版)」をふまえ、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進します。</p> <p>○少年文化館の創造活動やSSW（スクールソーシャルワーカー）派遣等を通じて不登校に係る課題解消に向けた取組みを推進します。</p>	継続実施
	<b>総合計画</b>	
	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。	
<b>基本政策</b>		
	0	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
7	<p>安心・安全で豊かな学校給食の提供</p> <p>○全小学校で安全安心なアレルギー対応食を提供します。 平成32年度(2020年度)提供開始</p>	継続実施
	<b>総合計画</b>	
	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
	0	
8	<p>教職員の勤務負担軽減の推進</p> <p>○定時退庁日・学校閉庁日の設定、閉校時間の設定、部活動ガイドラインの運用等により教職員の勤務負担軽減を推進します。</p> <p>○保護者負担費の効率的、効果的な徴収管理方法等の検討を進めます。</p> <p>○校務支援システムを活用し校務の効率化を図ります。</p>	継続実施
	<b>総合計画</b>	
	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
	0	



No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
9	<p>熱意ある優秀な教職員の採用と育成</p> <p>○将来を見据え計画的に採用数を決定していきます。</p> <p>○初任者、経験の浅い教員への研修サポートをすることにより優秀な人材の採用に努めます。</p>	継続実施
	<b>総合計画</b>	
	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
0		
10	<p>学校を拠点にした地域社会全体で子どもたちの学びや育ちを支える環境づく</p> <p>○地域が担い手となる事業の一体型運営と、放課後こどもクラブ事業、地域こども教室、放課後の子どもの居場所づくり事業の3事業を効果的に組み合わせた事業展開の仕組みをつくりま</p> <p>○(仮称)庄内さくら学園においてはこれら新たな仕組みの導入・実施をめざします。</p> <p>○コミュニティスクールのモデル校実施をめざします。 (3事業を効果的に組み合わせた事業展開)</p>	<p>平成35年度(2023年度)</p> <p>(仮称)庄内さくら学園において新たな仕組みの導入</p> <p>平成32～34年度(2020～2022年度)</p> <p>モデル校実施</p>
	<b>総合計画</b>	
	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。	
	<b>基本政策</b>	
3	子どもの未来応援施策の推進	